



AV通信

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

2022 新年のごあいさつ



芦屋ユネスコ協会
会長 山中 健

明けましておめでとうございます。

希望に満ちた2022年の幕開けです。とは言え、新型コロナウイルスの感染者数は、昨年12月には劇的に減少し安堵しかけたのも束の間、形を変えてまた猛威を振り始めています。

芦屋ユネスコ協会も、コロナ禍の2年間、数々の行事の中止を余儀なくされました。日本国内また全世界のあらゆる活動が大

きく制限され、まさに地球全体がこのコロナに翻弄されてきました。

しかし、そんなコロナ禍の中ではありましたが、昨年12月にはYouTube併用という実施方法で、2年余ぶりに大阪で「第77回全国ユネスコ運動全国大会」が開催されました。また、芦屋ユネスコ協会も「世界遺産カレンダー」を作成、全会員の皆様にお送りすることができました。

“朝の来ない夜はない”といます。私たちも、マスクをつけずに集まることのできる時が必ず来ることを信じて、《平和の鐘》を鳴らし続けましょう。

阪神・淡路大震災から27年という月日が流れます。その震災で多くの仲間や隣人を失いながらも、乗り越え再スタートを果たしてきた私たちです。もうひと我慢しつつ、明るい未来に希望を持ち続け、《平和》を継承する活動を力強く展開していけますよう頑張ってください。

政府代表 / 特命全権大使 (関西担当)
新しく姫野勉氏がご就任

芦屋ユネスコ協会「年末講演会 & 親睦会」に、2000年以来毎年講師としてご参加いただいております政府代表 / 特命全権大使(関西担当)に、昨年12月、姫野勉大使がご就任されました。

前任地はガーナ、シエラレオネ、リベリアとのことです。

なお、講師またビデオレターをお寄せくださいました前任の山本条太大使は、駐オマーン特命全権大使として、任地へ赴任されました。感謝とともに、新天地での一層のご活躍を祈念しております。

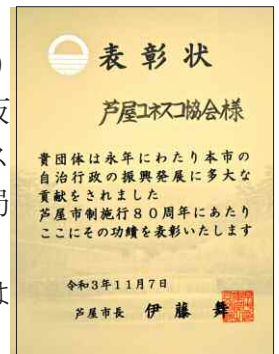
◎「世界寺子屋運動」のための「書き損じハガキ」などのご提供を、引き続きお願いします。
未使用のテレホンカード、未使用の切手のご提供も受け付けています。

芦屋市制施行 80 周年－芦屋ユ協が市政功労者で表彰

2021年11月7日(日)、ルナ・ホールで「芦屋市制施行80周年記念式典」が開催されました。芦屋市は令和2年(2020)11月10日をもって市制施行80周年を迎えたものの、猛威をふるっていたコロナ禍のため式典の開催が見送られ、2021年の開催となりました。

芦屋ユネスコ協会は、昭和22年(1947年)に発足し、70余年の永きに亘りユネスコの精神に基づいた活動を続けてきました。平成7年(1995年)に阪神・淡路大震災が起こり、会員数の激減と会員の高齢化に伴い、一時ユネスコ活動を中断。しかし平成12年(2000年)8月、廣瀬忠子氏を会長、事務局長に山田利郎氏を選出し、再スタートを切り現在に至っています。

永年に亘り芦屋市の発展に寄与した功績によって、芦屋ユネスコ協会はこの度「市政功労者表彰」を受けることになりました。



2021年度日本ユネスコ運動「第77回 全国大会 in 大阪」開催



2021年12月5日(日)、桃山学院教育大学のエレノアホールを会場に、会場参加とオンラインの併用という形式で「第77回全国大会 in 大阪」が開催されました。

芦屋ユネスコ協会からは、山中会長と塩井・戎井・藤井副会長と青木常任理事が会場参加し、南事務局長は自宅からオンライン参加しました。

今回のテーマは、「いのち輝く持続可能な世界を未来へ繋ぐ～大阪から世界へのメッセージ～」で、京都大学 IPS 細胞研究所 所長・教授の山中伸弥氏のビデオメッセージほか、わが芦屋ユネスコ協会の廣瀬忠子名誉会長のビデオメッセージ《未来へのバトン》が紹介されました。

◆◆◆ 芦屋ユナイテッドリレーマラソン 2021 ◆◆◆

震災復興支援としてスタートし、今回で10年目となる「芦屋ユナイテッドリレーマラソン2021」は、昨年11月28日(日)午前9時から、総合公園を会場に開催されました。

競技は《ファミリークォーターマラソン》と《フルリレーマラソン》の2種目から構成され、芦屋ユネスコ協会では、第1回目からそれぞれの優勝者に「芦屋ユネスコカップ」と呼ばれるクリスタルの優勝盾を贈呈してきました。

今年の優勝者は、昨年と同様、《ファミリークォーターマラソン》はJRCみはら、《フルリレーマラソン》は上ヶ原アスリートクラブでした。

